



決意も新たに「団結がんばろう」三唱

原点に戻り団結強化

——明るく楽しく前向きな職場づくりへ——

三度目委員長就任も未だ賞味期限切れず

11月15日に開かれた文京支部第3回定期大会で委員長を担うことになりました。小石川支部の時代から数えると3度目の委員長就任になり、新鮮味はありませんが、まだ賞味期限は切れていないと思いますので、よろしくお願いします。

私が、組合運動を始めた理由は、この職場に入り先輩や仲間恵まれ、どうせ仕事をやるなら仲間と明るく楽しく前向きにやりたい。そんな職場で働き続けたいと思ったからです。しかし、残念ながら、労働条件は年々悪くなり職場の環境も悪

くなっているように思えます。職場に入った当初から、よく先輩たちがわずか数年前に定年退職した方たちのことを、「あいつは、いい時にやめたよな」と言うことをよく言っていましたし、組合の役員をやるようになり、職場集会等でしゃべる時もいつの間にか「私たちを取り巻く情勢は、大変厳しいものです」が常套句になっていました。景気に左右されず、賃金はべら棒に上がることは無いが（バブルも私達には無縁でした）、地道に勤めれば、安定した生活が保障されるといわれた公



務員生活が、年毎に安定感を失い、将来に対する不安でグラグラにされています。特にここ数年は、新保守主義の台頭による剥き出しの資本主義のもと、競争至上主義がもたらした格差社会のなかで、公務員が鬱憤のはけ口にされ、社会の敵のごとく叩かれています。現場の実態を無視した大幅な賃金の切り下げがされ、人員は削られ、新規採用は久しくされず、職場の高齢化も進んでいます。こんな厳しい状況のなかで、当局は公務員のモラルアップを叫んでいます。まったく、ふざけるなです。

委員長就任にあたり、思うことは、組合員の生活と権利を守ることを第一に考えることは当然としながらも、組合活動を始めたときの原点に戻り職場の団結を強化してい

きたいと思っています。公務員、現業労働者に対する世間の厳しい風について先に触れましたが、内部的にも賃金任用制度に競争の原理が取り入れられ、仲間同士が競争しないと生活が守れないような職場にされようとしています。競争が悪いとか完全に否定をするつもりはありませんが、競争に勝ち続けなければ生活が守れないようなことになれば、隣の仲間のことなんか平気で蹴落とすようになるでしょう。私は清掃の職場をそのようにしたくないと思っています。

今後も組合員の生活と権利を守るために、明るく楽しく前向きな職場づくりに向けて、微力ではありますが全力で頑張つてまいりますので、改めてよろしく申し上げます。

【執行委員長・桐田達也】

礫つぶて

発行 責任
執行 委員
編集 責任
教育 宣伝

東 京 清 掃
労 働 組 合
文 京 支 部

2007年12月20日
第65号

報支
告部
特大
集会



東京清掃労働組合文京支部の支部旗

新執行部員 新任の挨拶

組織部長（事業所）・加藤浩行

賃金部長（本所）・佐藤国明

文厚部長（支所）・星 光秋

組織部長（本所）・松澤貴広

先日開催された第三回文京支部定期大会より、賃金部をさせて頂く事になりました。初めての執行部入りで、戸惑いもありますが、やはり色々教わりながら、皆様に迷惑のかからぬよう、頑張っていきたい



・佐藤国明

不慣れな私ですが、皆さんの協力、ご理解をいただき頑張りますので、よろしくお願い致します。



・加藤浩行

11月15日に開催された第3回文京支部定期大会から、新執行委員体制の



・松澤貴広

初めてなので分からないことばかりで皆さんには迷惑をお掛けするところもあるかと思いますが、自分なりにがんばっていきます。今後も皆さんの協力の下、執行部ともども、よろしくお願いいたします。



・星 光秋

と思っています。

中で組織部をやらせていただくことになりました。今までは支部青年部長として数年間、特別執行委員をやらせていただいていたので、今のところ、あまり違和感も無く今日に至っています。

1996年（平成8年）

入りに、半年後にはなぜか青年部の役員をやっていました。それから今までに、支部や地連の場で色々な経験をさせてもらってきました。この経験を今後の活動に生かしていければいいと思いますが、なにぶん初めてのことで、ご迷惑を掛けることがあると思いますが、よろしく願います。



報告をする会計監事の下村圭司さん

退任挨拶

・伊本茂



この度、3月の定年を迎えるにあたり、今大会で退任することになりました。

思えば私は1967年（昭和42年）に19歳で入都と同時に組合員になりました。6月に入ると青年部の本部委員として、右も左もわからないうちに、当時、鶯谷にあった木造の清掃会館に、月一回の本部委員会に参加しました。当時、賃金関係

は都労連が仕切り、任用制度関係は都職労が仕切っていましたので、清掃労働組合としての独自の運動は少なかったと思います。

しかし、唯一の独自運動として区移管闘争がありました。その為、全精力を傾けて闘うことができたのではないかと思います。当時の運動として、

有明コロシアムにおける1万人大集会、100万名の反対署名活動、ストライキを想定し、職場を離れ地連別に拠点を決めて全員が集合するという行動を実施しました。その当時が一番団結力のあつた時ではないかと思えます。

今後は当局による組合弱体化を図る方策として、組合員間の競争をあおり、またマスメディアを利用し、住民に現業の賃金は高過ぎると宣伝する。このような当局の締め付けをはねのけるためにストライキも辞さない体制作りが急務ではないでしょうか。

2年前にある支部では休日出勤拒否闘争の時、

当局より、もし実施する場合、当日は業者の車と作業員を使つてごみ収集を実施するからと恫喝され、委員長はびつくりし、裏を向いたら執行委員の顔が見えなかったため、保安要員を増やして対応することになりました。

もし、文京区当局が恫喝してきたら、委員長を中心に執行委員が団結し、区当局の恫喝に負けない組織でありますよう祈念いたします。

最後に委員長として、19年4ヶ月の間、組合員の皆さんの期待と要望に応えられたか疑問ですが、可もなく不可もなく無事に退任まで務めることができました。本心に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

・白山重美



第3回支部定期大会において退任することにな

りました。在任中は皆さんの暖かいご支援と励ましの下、自分なりにがんばってきたつもりですが、また至らない点も多々あったと思いますが、皆さんのご理解とご協力を得ながら組合活動に取り組みました。

在任中の思い出深いことは、区移管闘争がもつとも印象深く残っています。住民署名、街宣活動、有明コロシアム1万人集会等、様々な運動を展開し、その時々で最良の決断を下しながら、結果として移管が決定されました。

私個人としては、大それた事もできず、また大それたこともやらず時間だけが過ぎたように感じられます。今後は一組合員として様々な組合攻撃に対して自分なりに全力を出していきたいと思えます。

最後に、今までご支援いただきありがとうございました。

・田中茂

私、田中茂はこの大会をもちまして執行委員を



退任させていただきます。大会には入院のため、参加することができませんでした。

振り返ってみますと、伊本委員長と本郷支部当時より執行委員（書記長）をさせていただきました。

実に20年以上にわたり組合の役員をやってきましたが、今日まで続けてこられたのも多くの諸先輩の方々や皆様方のご協力のおかげと、心より感謝いたしております。

退職まで残り数ヶ月となりましたが、今後は一組合員として支部のために協力していきたいと思えます。

最後になりますが、新桐田委員長のもと、よりいっそうの組織強化をして文京支部の発展のため、がんばってください。

・土岐善栄

在任中は大変お世話に



なり感謝しております。ありがとうございました。今後もしよろしく願います。

・茂木淳一



来年（2008年）3月の定年に伴い、執行部を退任することになりました。

この間、現業部として、いろいろな出来事がありました。そのつど皆様方にご協力いただき、また支えていただき、何とかここまでやってこることができました。本当にありがとうございました。これからも、新執行部の下、ともにがんばっていきましょう。

2007年度文京支部執行委員役員体制

委員長 桐田 達也
副委員長 高津 城行

森田 秀和
斎藤 実

清水 尚
有田 孝保

大林 茂
工藤 秀博

書記長 渡邊 一彦

書記次長 野中 直樹

会計 岡田 友成

会計次長 松澤 貴広

組織部長 緒方 雄一

現業部長 加藤 浩行

賃金部長 竹内 健明

教宣部長 榎本 秀和

佐々木 賢豪

都筑 正

文厚部長 高橋 清孝

野口 了

星 光秋

再任用執行委員 伊本 茂

茂木 淳一

会計監事 金子 明
下村 圭司

2007年度文京支部支部委員体制

本所12名 鈴木 清次

寺田 一美
信田 五寿郎

堀切 清

石渡 一雄

白井 博文

佐伯 敦之

野一色 達也

橋本 良一

原口 豊

山崎 広重

鈴木 優

支所6名 吉田 明年

飯塚 勝

志澤 浩俊

中村 賢二

石塚 清

酒井 史郎

播磨坂事業所3名 松浦 正人

小口 公男

荒木 健

作業係(技能長) 島崎 一郎

再任用 折本 正伸

大森 正一

特別組合員(再雇用) 篠原 重男

馬場 勝利

2007年日比谷メーデー

次の原稿は、メーデーに参加されたお二人にお願いし、お書きいただいた物ですが、編集委員の力不足により、メーデー後の掲載・発行を実現できませんでした。半年以上遅れての掲載となつてしまい、誠に申し訳ございません。(編)

植草浩二

第78回日比谷メーデーが5月1日(火)に開催されました。終始、小雨でしたが、東京都内の労働者・約1万2000人が集まりました。会場内に立ち見が出るほどでした。

配布されたTシャツと作業着を着用し、小雨のため頭を手ぬぐいではつかむりという格好が目立ちました。

白山重美

第78回メーデーに参加してきた。労働者の祭典として行われているが、近年はお祭りムードが高く、また参加団体も少なくなっているような気がする。

その昔は、主義・主張を熱く語る団体・個人が、数多くざわわして熱気があった。

組合離れ、個性的なリーダーシップをとる人物が少なくなつたのか、何とかしないとメーデーも形骸化していくような気がする、と思う人は私一人ではないと思う。ともに頑張ろう。



文京支部の仲間も多数参加した2007年日比谷メーデー